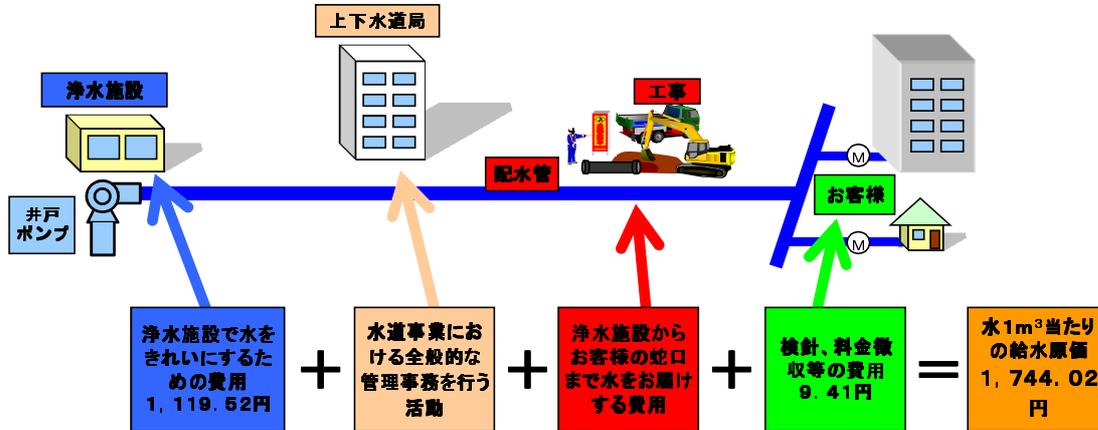


ABC分析結果(簡易水道事業) (平成24年度現在)

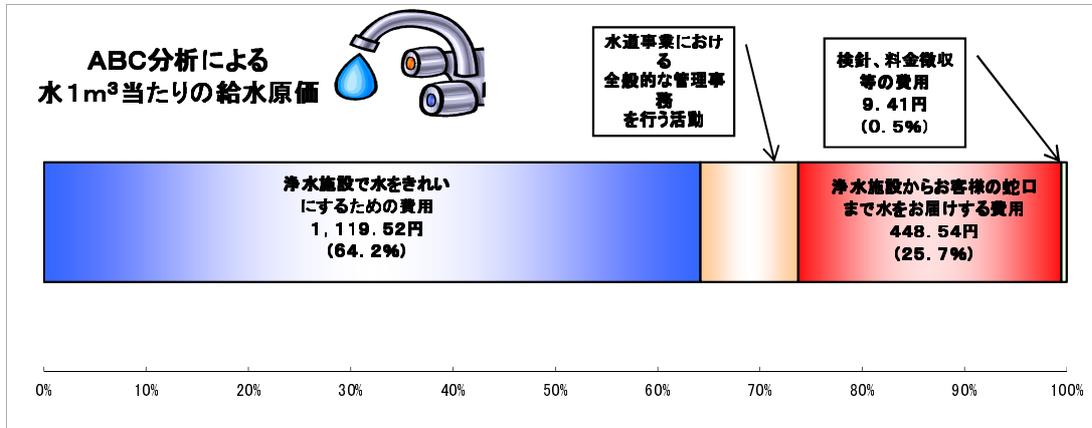
※24年度決算(24年4月1日~25年3月31日)数値より

1. ABC分析のイメージによる結果



ABC分析給水原価(単位:円)

	給水原価(円)	税抜額(円)	割合
浄水施設で水をきれいにするための費用	1,119.52	71,288,872	64.2%
水道事業における全般的な管理事務を行う活動	166.55	10,605,497	9.5%
浄水施設からお客様の蛇口まで水をお届けする費用	448.54	28,562,195	25.7%
検針、料金徴収等の費用	9.41	599,388	0.5%
計	1,744.02	111,055,952	100.0%



【分析結果】

前年度819.97円、本年度1744.02円で924.05円増加している。

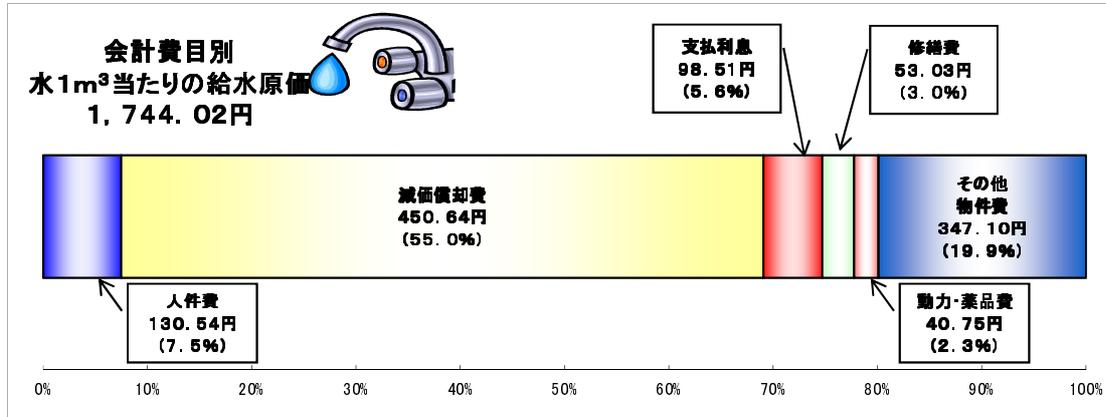
これは、富士中央簡易水道が平成24年4月から給水を開始したことに伴い、全体的に費用が増加し、特に減価償却費が大幅に増加したためである。

今後は、給水原価の増加に対し、より一層の費用の抑制に努め、また、既存施設の効率化等の検討も進める必要がある。

2. 参考

会計費目別給水原価(単位:円)

	給水原価(円)	税抜額(円)	割合
人件費	130.54	8,312,865	7.5%
減価償却費	1,074.09	68,395,700	61.6%
支払利息	98.51	6,273,133	5.6%
修繕費	53.03	3,376,961	3.0%
動力・薬品費	40.75	2,594,908	2.3%
その他物件費	347.10	22,102,385	19.9%
計	1,744.02	111,055,952	100.0%



3. ABC分析グラフ

